

IPRally 知財AIプラットフォーム調査レポート

エグゼクティブサマリー

IPRallyは、特許検索・レビュー・分析を中核に据えたAIネイティブな知財プラットフォームであり、公開一次資料から見る限り、最大の差別化要因は「特許専用のGraph AI検索」と「説明可能で検証可能な出力」にあります。通常の生成AIツールのように文章を“それらしく生成する”のではなく、発明開示や画像・PDF・Office文書から検索対象を構造化し、先行技術を探索し、特徴単位で根拠付きに整理するという、**実務ワークフロー全体の短縮**を狙った設計です。2026年時点では、検索基盤に加え、IPRally Agentによる新規性調査の自動化、Protectionによるドラフティング支援、Ask AI / Multi-patent Ask AI / Smart Filtersによるレビュー高速化が、製品の中心線を形成しています。 ①

導入適性が高いのは、新規性調査・FTO・無効資料探索・技術モニタリングの件数が多い組織、あるいは知財部門だけでなくR&D部門にも“検索の初動”を開放したい組織です。公開事例では、RPXがIPRで使われる先行技術の採用率を30%から42%へ改善しつつ1件あたり平均1.5時間短縮、YpsomedがFTO関連の先行技術探索時間を50%以上削減、Melexisが特許性調査時間を75%削減、Metsä Groupが外注前提だった作業を社内で数分～数時間に短縮したと報告しています。これは、IPRallyが単なる「検索UIの改善」ではなく、**ノイズ削減・探索起点の形成・レビュー工程の圧縮**に効いていることを示します。 ②

技術面では、IPRallyは公開資料上、**Graph Neural Networkを含む独自Graph AI**を中核にし、これを数百万件の特許審査官引用で学習させている点を強く訴求しています。生成AIは補助レイヤーとして利用されており、Help Centerの現行資料ではAsk AIとSmart FiltersはGoogle Gemini Flash 2.0、Image SearchはGemini Flash 2.5を用いるとされています。一方、検索そのものの本丸はあくまで自社のGraph AIであり、AgentのQ&Aでは**グラフ検索AIはself-hosted**と説明されています。つまり、IPRallyの価値は「LLMを特許業務に載せたこと」よりも、「特許検索に特化した検索モデルの上にLLMを重ねていること」にあります。 ③

データカバレッジは、マーケティング面では**58法域・120M+ patents**、Help Centerでは約**125 million patent application and grant publications**と記載されており、時点差はあるものの、**1億件超のグローバル特許コーパス**を前提にしていることは明確です。日本、中国、韓国など非英語圏ドキュメントには**英訳機械翻訳**を付与し、更新は通常**公報公開後21日以内**、法的ステータスは一部主要法域に限るとされています。したがって、探索・レビュー・状況把握には十分実用的ですが、**厳密な法的判断では必ず原庁公報・原文・公式ステータスに戻る必要があります**。 ④

セキュリティ・プライバシー面の公開情報は比較的充実しています。IPRallyは**GDPR準拠のDPA**を公開し、**ISO 27001認証**および**Cyber Essentials認証**を公表しています。Ask AI関連では、**データは保存時・転送時に暗号化され**、IPRally社員が会話内容を読めないこと、**Google Geminiへ送るデータは質問・特許本文・書誌情報・補助指示に限定し、ユーザーデータを学習に使わないこと**を明記しています。さらにAgentの公開Q&Aでは、**LLMはIPRallyサーバと同一クラウド環境で動作し、Google側ゼロ保持契約**であると説明されています。企業が機密発明開示を扱う上で重要な論点に、公開一次資料の範囲でかなり踏み込んでいます。 ⑤

一方で、導入検討上の注意点もあります。第一に、**公開価格は出ていません**。Individual / Teamというプラン構造は公開されていますが、具体金額は非公開で、営業経由のB2B販売モデルです。第二に、**オンプレミス提供は公開一次資料では確認できません**。むしろGoogle CloudとGKE/Rayを使ったSaaS基盤の説明が中心です。第三に、**機能名称が移行期**にあります。Help CenterではImage Searchの新規利用終了・Smart Searchへの統合が示される一方、Pricingページにはimage-based search表記が残っており、評価時には**デモで現行**

UIの確認が必須です。第四に、一般公開REST APIは未確認で、現時点の公開統合はMCPサーバによるread-only接続が中心です。 6

経営判断としては、IPRallyは「大量の検索を少人数で回す」「外注のレポート費を減らす」「R&Dに初期スクリーニングを委譲する」という課題に対して、かなり筋の良い選択肢です。逆に、オンプレ必須、価格の完全公開が必要、日本語中心の公開資料や国内サポート体制を最優先、広範なNPL・市場・化学・生物配列データまで一体分析したいといった要件では、PatSnap・Questel・Clarivate・Patentfieldなどと並べて比較すべきです。総じて、公開一次資料ベースでは、IPRallyは先行技術探索とその検証可能性に最も強い、実務寄りの知財AI基盤と評価できます。 7

経営判断の要点	評価
先行技術探索・新規性調査の中核ツールとして	有力。Graph AI、Agent、説明可能性が強い。 8
FTO・無効資料探索の効率化	有力。Ypsomed、RPX、Metsäの事例が具体的。 9
出願ドラフティング支援まで含める場合	要評価。Protectionは魅力的だが、成熟度確認が必要。 10
セキュリティ要求が高い企業	比較的良好。GDPR、DPA、ISO 27001、暗号化、学習不使用の明示あり。 11
価格透明性重視	弱い。公開価格は未提示。 12
オンプレ必須	未公開・不明。公開一次資料では確認できず。SaaS前提の記述が中心。 13

公式情報と一次資料マップ

2026年7月時点で、IPRallyの主要一次資料は英語の公式サイト、Help Center、Legal Hubに集中しています。日本語の一次資料は限定的で、補助的に有用だったのはGoogle Cloud Japanの導入記事です。本レポートでは、公式サイト・製品ページ・ケーススタディ・法務文書・Help Centerを主軸とし、不足部分のみ競合各社の公式情報で補いました。 14

種別	資料名	URL	主要ポイント	言語
公式サイト	Home	https://www.iprally.com/	AI-native patent search platform、検索・レビュー・分類を統合。 15	EN
製品概要	Product Overview	https://www.iprally.com/product/overview	Graph AI検索、生成AI支援、Image/Smart Search、分類までを横断的に説明。GNNが審査官引用で学習。 16	EN
機能一覧	Product Features	https://www.iprally.com/product/features	Ask AI、Multi-patent Ask AI、Smart AI highlighting、Smart images、エクスポート、共有、コメント等。 17	EN

種別	資料名	URL	主要ポイント	言語
料金ページ	Pricing	https://www.iprally.com/product/pricing	Individual / Teamの区分、1ユーザー対2-無制限、SSO、カスタム分類、R&Dライセンス、3日無料トライアル。具体金額は未公開。 ¹²	EN
製品ページ	Agent	https://www.iprally.com/agent	発明開示から新規性レポートまでを数分で生成。特徴チャート、理由付き評価、プロジェクト引き継ぎ。 ¹⁸	EN
製品ページ	Protection	https://www.iprally.com/protection	ドラフティング時に近接先行技術を組み込み、クレームスコープを根拠ベースで調整。 ¹⁰	EN
リリース/ブログ	Introducing Agent	https://www.iprally.com/news/introducing-agent	Agentの設計思想、ワークフロー、透明性、120M~130M+ patent探索の説明。 ¹⁹	EN
リリース/ブログ	Introducing Smart Search	https://www.iprally.com/news/introducing-smart-search	画像・PDF・Office文書・テキストから検索クエリを自動構造化。クレーム形式で可視化・編集可能。 ²⁰	EN
ケーススタディ	Customer Case Studies	https://www.iprally.com/resources/case-studies	顧客一覧と効果サマリー。RPX、TLB、Ypsomed、Metsä Groupなど。 ²¹	EN
技術ドキュメント	Help Center: Data coverage	https://help.iprally.com/en/articles/3270009-data-coverage	約125M文書、更新サイクル21日、IFI Claims、法的ステータス対象法域を明示。 ²²	EN
技術ドキュメント	Help Center: AI Assistants overview	https://help.iprally.com/en/articles/13110035-overview-of-ai-assistants-of-iprally	Ask AI / Smart Search / Prompt Assistantなどの現行機能構成。Image SearchはSmart Searchへ移行。 ²³	EN
技術ドキュメント	Help Center: MCP	https://help.iprally.com/en/articles/16034548-connect-iprally-to-your-ai-assistant	ChatGPT、Claude、Copilot、Gemini等へread-onlyで統合するMCPサーバを公開。 ²⁴	EN

種別	資料名	URL	主要ポイント	言語
法務	Legal Hub	https://www.iprally.com/support-and-legal/legal	ToS、Privacy Policy、DPA、Generative AI Terms、Vulnerability Disclosureへの入口。 25	EN
セキュリティ	Ask AI security & privacy	https://help.iprally.com/en/articles/8398406-security-and-privacy-for-ask-ai	Gemini送信データ範囲、学習不使用、暗号化、社員閲覧不可を明示。 26	EN
パートナー技術記事	Google Cloud Japan blog	https://cloud.google.com/blog/ja/products/containers-kubernetes/iprally-builds-ai-based-patent-search-platform-on-gke-and-ray	GKE、Ray、KubeRayで学習・推論基盤を運用する実装例。日本語で読める技術補助資料。 27	JA

ホワイトペーパーについては、公開一次資料としては「Reports & Analysis」ページの存在は確認できたものの、製品技術や評価方法を体系化した**独立ホワイトペーパー**は今回の調査範囲では確認できませんでした。したがって、この項目は**未公開・不明**と扱うのが妥当です。 28

機能と技術アーキテクチャ

公開資料を総合すると、IPRallyの製品は大きく、**検索、レビュー/要約、新規性評価の自動化、ドラフティング支援、分類・モニタリング・共有、外部AIアシスタント連携**の六層に分かれます。特に重要なのは、検索基盤に**Graph AI**、レビュー基盤に**LLM**、成果物として**根拠付きレポート**を置く構成です。これは、単に文章生成を付け足した知財ツールではなく、**専門検索モデルを中心にワークフローを統合した構成**だと理解するのが適切です。 29

領域	主要機能	公開状況	実務上の意味
特許検索	Graph AI Patent Search / Free text / New graph search / Claim focused search / Number search	公開済み。PricingとHelp Centerで確認。 30	先行技術調査、無効資料探索、状態調査の中核。
マルチモーダル入力	Smart Search	公開済み。PDF、Office、画像、テキスト、任意言語入力を受け付ける。 31	発明提案書、図面、PPT、研究メモからそのまま検索開始。
画像起点検索	Image Search	旧機能として公開、Help CenterではSmart Searchへ統合移行。 32	図面・写真・製品シートから技術概念を検索。現行UIでは移行状況確認が必要。
個別レビュー	Ask AI	公開済み。特許全文と書誌情報を見て要約・質問応答。図面は見ない。 33	特許要約、クレーム要素の有無確認、技術内容の噛み砕き。

領域	主要機能	公開状況	実務上の意味
一括レビュー	Multi-patent Ask AI / Smart Filters	公開済み。最大500件/ページでYes/No/Maybe型フィルタ。 ³⁴	ノイズ除去、FTOやターゲット要件に合う文献の絞り込み。
生成補助	Prompt Assistant / Refine	公開済み。ただしRefineはSmart Searchへ置換予定。 ³⁵	質問文や検索文の作成支援。
自動レポート	Agentのstructured novelty report / Smart AI reports	Agentは公開済み、Smart AI reportsはPricing上“Coming soon”。 ³⁶	新規性評価レポートや共有資料の生成を短縮。
出願支援	Protection	公開済み。ドラフティング画面に近接先行技術を組み込む構想。 ¹⁰	出願前のクレームスコープ最適化。
翻訳	非英語文書の機械翻訳	公開済み。非英語文書に機械翻訳、Ask AIもその翻訳版を見る。 ³⁷	日中韓など異言語文献レビューの障壁を下げる。
モニタリング/分類	Graph AI monitoring / Boolean monitoring / custom taxonomy AI classifiers	公開済み、一部オプション。 ³⁸	競合監視、技術テーマ監視、社内分類体系への落とし込み。
共有/統合	Exports / Sharing / Comments / MCP / SSO	公開済み。MCPはread-only、SSOはTeam plan。 ³⁹	社内コラボ、レポートニング、自社AIアシスタント連携。

中核技術

IPRallyの検索コアは、公式表現では“**graph-based search technology**”であり、**技術構造と機能関係を理解**するとされています。Product Overviewでは、技術記述を要素・関係に分解し、**Graph Neural Networkが審査官引用データで学習**していると説明されています。Agentの説明でも同じく、**数百万件の特許審査官引用で訓練された独自AIが使われる**と明示されており、キーワード一致よりも**概念的類似・技術関係の把握**に寄せた設計です。⁴⁰

生成AIはこの上に乗る補助層で、Help Centerの現行文書では**Ask AIとSmart FiltersにGemini Flash 2.0、Image SearchにGemini Flash 2.5**を使用するとされています。また、Ask AIの内部説明では、セルフホストではなくオンラインLLMサービスを使う理由として、**精度とスパイク時の応答性**を挙げています。ここから見ると、IPRallyはLLMを“**万能実行主体**”にしているのではなく、**検索・検索結果整理・要約・質問応答という局所機能に限定して利用**していると解釈できます。⁴¹

データソースとカバレッジ

データカバレッジについては、マーケティングページでは**58法域・120M+ patents**、Help Centerでは**約125 million publications**と書かれており、時点差があります。Help Centerでは、日本を含む主要国の収録年や原言語、更新遅延、法的ステータス対象法域まで具体化されており、**日本特許・実用新案も1983年以降**をカバーし、**更新は通常公開から21日以内**、データプロバイダは**IFI Claims**であると明示されています。⁴

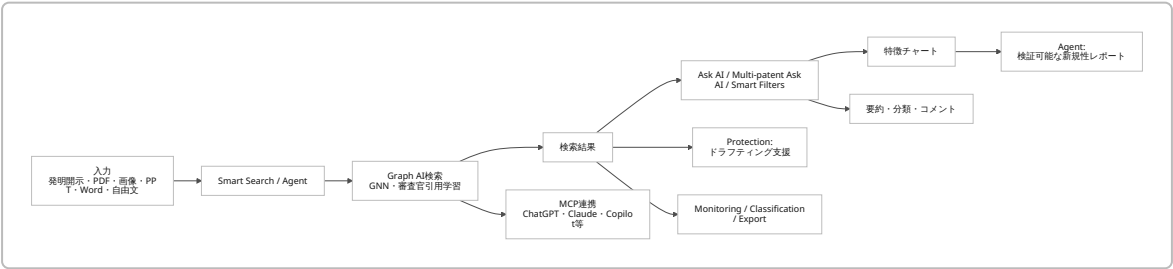
セキュリティ・プライバシー・クラウド構成

IPRallyの法務・Help Center資料から確認できる範囲では、アップロードしたユーザー生成コンテンツの**所有権は顧客側に残り**、IPRallyはそれを第三者へ共有せず、サービス提供目的以外には使わないとしています。Generative AI Termsでは、**外部モデルにユーザーデータを学習させず、所有権主張もしないプロバイダのみ**を使う方針を示し、Ask AIのFAQでは**Google Geminiへ送るデータ範囲と学習不使用**を明記しています。加えて、AgentのQ&Aでは、**データは同一クラウド環境内で処理され、Google側ゼロデータ保持、self-hosted graph search AI**と説明しています。 42

インフラ面の日本語資料としては、Google Cloud Japanの記事が有用です。そこでは、IPRallyが**Google Kubernetes Engine、Ray、KubeRay**を用いて学習・前処理・探索的ディープラーニングを運用し、週間で約20万件の検索可能レコード追加を行っていると紹介されています。公開一次資料全体を通じて、**SaaS/クラウド前提の記述が非常に強く、オンプレミス提供は未公開・不明**です。 27

API・統合可能ツール

現在確認できる公開統合は、**MCPサーバ**です。これはChatGPT、Claude、Microsoft 365 Copilot、Gemini Enterpriseなど、MCP対応AIアプリから**特許検索・Boolean検索・文献取得・ランドスケープ分析**を行えるread-only接続で、**保存済み検索や社内プロジェクトにはアクセスしない**と明記されています。一般的な公開REST APIや書き込み可能な統合については、今回の調査範囲では**未公開・不明**でした。 43



上図は公開資料をもとに再構成した概念図であり、**入力の多様性 → Graph AI検索 → LLM補助レビュー → 構造化成果物**という流れがIPRallyの基本設計だと整理できます。 44

導入事例と顧客実績

公開ケースから見ると、IPRallyの成果は主に四つのパターンに分かれます。第一は、**従来のBoolean/キーワード手法のノイズを下げる**こと。第二は、**検索とレビューの所要時間を大幅に短縮**すること。第三は、**外注依存を減らし、社内R&DやIP部門が自走できるように**すること。第四は、**根拠を残したまま共有・意思決定につなげる**ことです。特定業界に偏っておらず、半導体、医療機器、大学技術移転、森林産業、特許リスク管理など、複数分野で再現性が見られます。 45

顧客	業界・組織	直面していた課題	導入効果	導入規模・補足
RPX Corporation	特許リスク管理・サービス	大量のprior art / invalidity調査を 高品質かつ効率的に回す必要。 46	IPRで使われるRPX発見先行技術の割合が 30%→42% 、1件あたり平均探索時間が 1.5時間短縮 。 46	2021年から利用。後にRPX Empowerへ統合。 46

顧客	業界・組織	直面していた課題	導入効果	導入規模・補足
Ypsomed	MedTech	FTO調査で大量文献を処理する必要があり、従来Booleanではノイズが多かった。 47	FTO関連の先行技術探索時間を 50%以上削減 、上位200件に重要ヒットがほぼ収まり、ノイズが大きく低下。 47	スイスの医療機器企業。特許チーム9名。 47
TLB	大学技術移転	技術分野が広く、初期段階の発明開示に対する検索が複雑で時間を要した。 48	検索時間を 約50%削減 、ノイズ低減、重要先行技術を見落としていないという確信を強化。 48	ドイツBaden-Württembergの大学向けTTO。Smart SearchとAsk AIを強調。 48
Metsä Group	森林・素材・R&D	非IP人材には既存監視ツールのハードルが高く、自律利用できなかった。 49	R&D側が自律検索・監視。外注だと 数週間 かかった特許性評価が 数分～数時間 へ。ユーザー数も倍増。 49	監視用途から導入し、後に新規性・FTO・アイデア検証へ拡張。 49
Melexis	半導体	特許性調査と外部事務所へのドラフティング支援に多くの工数が必要。 50	調査時間を 1.5日→3時間 に短縮し 75%削減 。発見した先行技術の 30-50% が後にEPO検索報告でも再出現。 50	ドラフト請求項をそのまま投入し、ドラフティング前後の検索で活用。 50

これらの事例から、IPRallyが特に効く条件は比較的明確です。**高頻度の調査案件、従来検索のノイズが大きい技術領域、外注コストまたは待ち時間が問題になっている組織、R&Dにも探索の初動を持たせたい組織**です。逆に、年間の検案件数が極端に少ない、あるいは既に高度な内製検索組織と専任サーチャーが十分な時間を確保できている場合は、効果が限定的になる可能性があります。これは公開事例に表れている効果の方向からの**分析的推論**です。
45

競合比較

競合比較では、**先行技術検索の強さ、生成AIの位置付け、レポートの検証可能性、分析・可視化の広さ、価格の透明性、導入形態**を軸に見るのが有効です。公開資料ベースでは、IPRallyは“**prior art / novelty / FTO 調査をどれだけ短く、検証可能に行えるか**”で非常に強く、一方でPatSnapやQuestel、Clarivate、Patentfieldは**広いデータ層や周辺分析機能、あるいは既存大企業アカウント基盤**で強みがあります。Tokkyo.Aiは日本語・出願ドラフト文脈に重心があり、ユースケースの置き方がやや異なります。
51

サービス	主要機能	データ規模・範囲	価格公開	強み	弱み
IPRally	Graph AI検索、Smart Search、Ask AI、Agent、Protection、分類、監視、MCP。 52	58法域・120M+ patents、Help Centerでは約125M。 4	具体額は未公開。3日無料トライアルあり。 53	先行技術探索の説明可能性、特徴チャート、審査官引用学習、レビュー一体化。 54	公開価格なし。オンプレ未公開・不明。公開APIはMCP中心。 55

サービス	主要機能	データ規模・範囲	価格公開	強み	弱み
PatSnap Eureka	Novelty / FTO / Design FTO、Draft、Validate、API/MCP/Open Platform。 56	200M+ patents、174 jurisdictions、2B+ structured data points。 56	一部公開。 Patent Search Agentsは \$400/月 、Drafting Proは \$200/月 。 57	データ規模、周辺R&Dスタッフ、API/MCP、 cloud or on-prem の選択肢。 58	知財専用というより広義R&D基盤で、特許専門職向けの“説明可能なFeature-level novelty report”の訴求はIPRallyほど強くない。これは公開情報に基づく比較推論。 59
Questel Orbit Intelligence	特許検索・分析、Sophia AI、類似検索、可視化、NPL連携、PowerPoint出力。 60	100M patents、17M designs、150M NPL、100,000 users。 60	公開価格は見当たらず、デモ/見積り中心。 61	伝統的に強い分析・可視化・NPL・コンサル体制。大規模企業向けに厚い。 60	新規性調査を“発明開示から検証可能レポートへ”直結させるAgent訴求はIPRallyほど明確ではない。公開情報ベースの比較。 62
Clarivate Derwent Patent Search	AI Search、DWPI由来の人手要約・特許検索・分析。 63	160M patent records。 64	公開価格は確認できず。営業見積り中心。 65	Derwentの編集データ資産と既存エンタープライズ基盤。 66	公開情報では、Agent型の根拠付き新規性ワークフローよりも、検索品質と既存データ資産が中心。 67
Patentfield	AIサマリー、AI検索、類似画像検索、AI査読、マップ分析、API連携。 68	約8,000万件公報データをAI要約。海外向けグローバルオプションあり。 69	一部公開。AIRは 月額30,000円~/ID 、類似画像検索は 月額15,000円/ID 。 70	日本語UI・国内向け価格透明性・可視化/分析の親和性。 71	IPRallyほど“審査官引用学習の専門検索AI＋特徴単位の新規性レポート”の訴求は弱い。公開資料ベースの比較。 72

サービス	主要機能	データ規模・範囲	価格公開	強み	弱み
Tokkyo.Ai	AIエージェント、先行技術調査、明細書ドラフト、出願までの知財支援。 73	公開検索・マーケットプレイス・プライベートAI特許など複数線。収録件数は今回確認範囲では未公開・不明。 74	一部公開。プライベートAI特許は月額35,000円/ID。 75	日本語での出願支援・ドラフト文脈が強い。検索クエリ流出を避ける“プライベート環境”訴求あり。 76	先行技術探索の国際的ベンチマーク、説明可能なFeature chart、グローバル導入事例の厚みはIPRallyより情報が少ない。今回の公開情報比較上。 77

比較すると、IPRallyは「検索品質 × 検証可能性 × 特許専門職の実務フロー」で最も尖っています。PatSnapはデータ規模・R&D全体・API/オンプレで優位、QuestelとClarivateは老舗データ基盤と分析・大企業浸透で優位、PatentfieldとTokkyo.Aiは日本語・国内導入容易性・価格透明性で優位、という構図です。したがって、IPRallyの採否は「自社が何を最重要視するか」にかなり依存します。もし優先順位が“日本語での使いやすさ”より“先行技術の見つけ方の質”にあるなら、IPRallyはかなり強い候補です。これは上表の公開情報からの比較評価です。
78

料金・ライセンス・導入プロセス

料金とライセンスの公開情報

IPRallyの料金ページは、Individual PlanとTeam Planの二層構造を公開しています。Individualは1ユーザー向け、Teamは2～無制限ユーザー向けで、TeamにはSSO、in-person training、dedicated customer success manager、R&D向け検索・レビューライセンス、custom taxonomy AI patent classifiers、AI classification of monitoring resultsなどが追加されます。Agentページでは、外注レポートのようなレポート単価課金ではなく、予測可能なサブスクリプション費用を訴求しています。ただし、具体金額は非公開です。
79

項目	公開情報	評価
無料トライアル	3日間、会社メール必要、新規ユーザー優先。 80	初期検証はしやすい。
Individual	1ユーザー。Graph AI Search、基本AI支援、グローバルカバレッジ、翻訳、PDF等。 12	個人弁理士・サーチャー向け。
Team	2～無制限。SSO、対面研修、CSM、スマートアシスタント全部、分類オプション等。 12	部門導入向け。
Enterprise custom	大規模ポートフォリオ管理やcustom integrationsは見積り対応。 12	大企業向け追加交渉余地あり。
Agent pricing	「predictable annual cost」「no per-report surprises」と説明。金額未公開。 18	外注代替のストーリーが明確。

項目	公開情報	評価
On-prem	未公開・不明。 13	必要な営業確認必須。

価格帯の推定

金額が出ていない以上、**数値推定は避けるべき**ですが、比較的安全に言えるのは、IPRallyは**ローエンドのセルフサービスSaaSではなく、ミッドマーケット～エンタープライズ寄りの営業伴走型商材**だということです。根拠は、公開ページに**SSO、対面研修、CSM、無制限席、custom integrations**が並ぶこと、Agentが**外注費代替**を訴求していること、そして競合のうち国内系ではPatentfield AIRが**月額30,000円/ID**～、Tokkyo.AiプライベートAI特許が**月額35,000円/ID**、海外系ではPatSnapの一部IP agentプランが**\$400/月**を公開しているためです。したがって、IPRallyも**プロフェッショナル向け有料帯**に位置するとみるのが自然ですが、**正確な価格は未公開・不明**です。これは公開価格比較に基づく**推定**です。 81

想定される導入プロセス

公開情報から再構成すると、導入の標準プロセスは次の順序になりそうです。まず**デモ／3日試用**で中核ユースケースを確認し、その後、必要に応じて**AI機能利用の追加規約を管理者が受諾し、組織単位でAI Assistantsを有効化**します。Team導入の場合は、**SSO設定、権限設計、対面研修、R&D向けライセンス配布、場合によってはMCP連携**まで含めたロールアウトが考えられます。MCPは既存ライセンスで動作し、追加APIキー不要です。 82

以下のようなPoC設計が現実的です。

- ・**対象案件**：直近3～6か月の新規性調査、FTO、無効資料探索、技術監視から各5件程度。
- ・**比較対象**：現行Boolean検索、外注レポート、既存DB。
- ・**評価観点**：立ち上がり時間、上位ヒットの妥当性、レビュー時間、見逃し不安、R&Dユーザーの自走性。
- ・**Go / No-Go判断**：時間短縮だけでなく、**採用判断の確信度と再現可能性**まで見る。

この評価軸は、公開事例で時間短縮だけでなく、**confidence**や**less noise**が繰り返し強調されている点に整合します。 83

法的・倫理的留意点

IPRallyは知財実務にかなり近い位置で使われるため、法的・倫理的論点は「一般的なAI利用」よりも具体的です。公開一次資料を踏まえると、最重要論点は、**機密発明開示の取扱い、生成AI出力の法的依拠性、法的ステータスや翻訳の限界、アップロード権限の所在**の四つです。 84

留意点	なぜ重要か	公開資料から見える事実	導入時の確認事項
機密発明開示の入力	出願前情報は営業秘密・将来出願の核心。	IPRallyはユーザー生成コンテンツの所有権を取得せず、第三者共有しない。Ask AIは暗号化、社員閲覧不可、Google学習不使用。 85	自社の情報分類規程上、どのレベルの開示を投入可能か。AI Terms受諾可否。
生成AI出力の正確性	出願判断やFTOに誤りが出ると高コスト。	IPRally自身が 正確性保証なし、一次ソース確認を推奨 、合法性・安全性確認はユーザー責任と明記。 86	“AI出力単独で法的結論を出さない”社内運用ルールが必要。

留意点	なぜ重要か	公開資料から見える事実	導入時の確認事項
法的ステータス・更新遅延	権利存続・失効判断は法的に重大。	Data coverageでIFI Claims由来、通常21日以内更新、法的重要時は official sources 参照と明示。 ²²	FTOや侵害リスク判断ではJ-PlatPat、USPTO、EPO等の公式簿冊で最終確認。 ⁸⁷
機械翻訳依存	異言語クレームの解釈差は致命的になりうる。	IPRallyは機械翻訳付き全文を提供し、Ask AIも翻訳版を見る。EPO/WIPOも特許機械翻訳を提供。 ⁸⁸	法的意見書や無効理由構築では原文照合が必要。これは公開資料から導かれる実務上の推奨。 ⁸⁹
アップロード権限	他社資料・共同研究資料・個人情報への投入に権限問題。	ToSでは、アップロード者が 適法な権限者であることを要求 。DPAではCustomerが開示権限を確保すべきと明記。 ⁹⁰	共同研究先・外部弁理士・業務委託契約との整合性確認。
越境移転・個人情報	EU/EEA外処理が規制対象になりうる。	DPAではEU/EEA外移転に事前承認と適切な保護措置を要求。 ⁹¹	SCC、サブプロセッサ一覧、データ所在の確認。
説明可能性と責任所在	AI推薦に依存すると判断の属人性が変化。	Agentはfeature-level reasoningとcitationsを重視。人の専門判断を置き換えず、professional review前提。 ⁹²	“AIが見つけたから採用”ではなく、誰が最終判断者かを定義。

倫理面では、IPRallyの特徴は**ブラックボックス化を避けようとしている**ことです。AgentもProtectionも、単に結論を返すのではなく、**理由・引用・特徴マッピング**を示す方向に作られています。これは、知財実務で問題になりやすい「なぜその文献を重要とみたのか」が後追い検証できるという意味で、一般的なLLMに比べて望ましい設計です。ただし、どれほど説明可能でも、**社内の判断責任や弁理士・弁護士の法的責任を代替するものではない**点は変わりません。⁹³

評価と推奨

総合評価

公開一次資料からの総合評価は、「**先行技術探索・新規性評価・レビュー効率化において非常に有望。価格と導入形態は営業確認が必要**」です。特に、**検索の質を上げることとレビューの質を落とさず時間を減らすことの両立を狙う企業には適合度が高いとみられます**。反対に、**オンプレ必須、日本語中心の公開情報や国内相場の明快さを最優先、市場・科学文献・配列・化学構造まで横断した巨大分析を主目的とする場合は、競合優位が変わります**。⁹⁴

導入検討チェックリスト

以下の質問に**5項目以上“はい”**なら、IPRallyはPoC候補としてかなり強いと考えられます。

- ・月間または四半期で、新規性調査・FTO・無効資料探索の件数が一定以上ある。
- ・既存Boolean検索で**ノイズが多い**、または異分野文献・翻訳文献の取りこぼしが不安である。
- ・外注調査に**日数またはレポート単価**の痛みがある。
- ・R&D部門に、知財部門を待たずに**初期スクリーニング**させたい。
- ・調査結果を**特徴単位で説明可能**に残したい。
- ・SSO、共有、コメント、プロジェクト管理など、組織利用の要件がある。

- ・自社AIアシスタントやChatGPT等から**MCPで特許検索**したい。
- ・クラウド利用は許容できるが、外部学習利用や権利帰属には厳格な条件がある。

これらは、公開事例と機能構成から合理的に導かれるチェックポイントです。 95

想定ユースケース

ユースケース	IPRally適合度	理由
発明受付直後の新規性スクリーニング	高い	Smart Search/Agentで資料混在でも開始でき、構造化レポートまで近い。 96
FTO初期洗い出し	高い	Ypsomed事例が直接的。ノイズ低減と所要時間短縮が確認されている。 47
無効資料探索 / IPR対策	高い	RPX事例で実績が具体的。Number SearchやGraph AIとも整合。 97
技術監視・競合監視	中～高	Monitoringと分類機能あり。Questel/PatSnapほど広い分析層が必要なら比較要。 98
出願ドラフティング支援	中～高	Protectionは魅力的だが、現場導入では成熟度確認が必要。 10
日本語中心の社内普及	中	機械翻訳やマルチリンガル入力はあるが、公開資料は英語中心。国内比較ではPatentfield/Tokkyo.Aiにも優位がある。 99

ROIの評価指標

PoCや本導入のROIは、**単純な検索時間短縮だけでなく、質の代理指標**を必ず入れるべきです。公開事例が示す通り、IPRallyの価値は“速い”だけでなく、**重要先行技術が前に出ることとレビュー確信度が上がること**にあります。 100

指標	計算方法	目安
ケース当たり時間削減	現行平均時間 – IPRally平均時間	公開事例では 50%～75% 、または 1.5時間/件 短縮が観測。 101
外注費回避額	置換できた外注件数 × 1件当たり外注費	Agentは“per-report”の外注費代替を明示的に訴求。 18
重要文献捕捉率の代理指標	後日の審査報告・異議・IPRで再出現した文献比率	Melexisの 30-50%再出現 、RPXの 30%→42% が参考。 102
ノイズ率	上位N件中の非関連文献比率	Ypsomedは従来Booleanで 約80% noise だったと説明。 47
初動意思決定までのリードタイム	発明受付からGo/No-Goまでの日数	Agentは“same meeting”での判断を目指す。 19
利用者層拡大	IP以外のアクティブユーザー数	Metsä Groupでは利用者数が倍増。 49

推奨方針

最終的な推奨は三段階で整理できます。

状況	推奨
新規性調査・FTO・無効資料探索の量が多く、外注や手作業が重い	導入を強く推奨。 まずTeamプラン前提でPoCし、Agentも併せて評価。 ¹⁰³
中規模のIPチームで、既存DBはあるがR&D自走やレビュー短縮が課題	条件付き推奨。 Smart Search、Ask AI、Monitoringに絞ってPoC。 ¹⁰⁴
オンプレ必須、価格公開必須、日本語UI最優先、または広範なデータ統合分析が主目的	比較検討を推奨。 PatSnap、Questel、Clarivate、Patentfield、Tokkyo.Aiの方が適合する可能性。 ¹⁰⁵

総括すると、IPRallyは「調査をAIで速くする」ツールではなく、「特許専門職が説明責任を保ったまま、探索・レビュー・判断の初動を圧縮する」プラットフォームです。その意味で、単なるAI検索機能の追加よりも、**知財業務プロセスの再設計**に近い投資対象として評価するのが適切です。 ¹⁰⁶

¹ ³ ⁸ ¹⁴ ¹⁶ ²⁹ ⁴⁰ ⁵² ⁷² ⁹⁴ Product Overview

https://www.iprally.com/product/overview?utm_source=chatgpt.com

² ⁴⁵ ⁴⁶ ⁹⁵ ⁹⁷ ¹⁰⁰ How RPX Uses IPRally to Provide Stronger Patent Risk Management for Their Membership Base

<https://www.iprally.com/case-studies/how-rpx-uses-iprally-to-provide-stronger-patent-risk-management-for-their-membership-base>

⁴ ⁶ ¹² ³⁰ ³⁷ ³⁸ ⁵³ ⁵⁵ ⁷⁹ ⁸¹ ⁸⁸ ⁹⁸ ¹⁰³ AI-powered patent automation, priced for growth

https://www.iprally.com/product/pricing?utm_source=chatgpt.com

⁵ ¹¹ ⁹¹ Data Processing Agreement

<https://www.iprally.com/support-and-legal/data-processing-agreement>

⁷ ⁵⁸ ¹⁰⁵ Patsnap | The AI-Native Platform for Global Innovation

<https://www.patsnap.com/>

⁹ ⁴⁷ ⁸³ ¹⁰¹ How Ypsomed spends 50% less time on FTO studies thanks to IPRally

<https://www.iprally.com/case-studies/how-ypsomed-spends-50-less-time-on-fto-studies-thanks-to-iprally>

¹⁰ No more drafting in the dark | IPRally Protection

https://www.iprally.com/protection?utm_source=chatgpt.com

¹³ ²⁷ IPRally が Google Kubernetes Engine と Ray を使用して AI ...

https://cloud.google.com/blog/ja/products/containers-kubernetes/iprally-builds-ai-based-patent-search-platform-on-gke-and-ray?utm_source=chatgpt.com

¹⁵ IPRally | AI Patent Search, Review & Classification

https://www.iprally.com/?utm_source=chatgpt.com

¹⁷ ³⁹ Product Features

https://www.iprally.com/product/features?utm_source=chatgpt.com

¹⁸ ⁷⁷ ⁷⁸ ⁹² IPRally Agent | Agentic Patent Search

<https://www.iprally.com/agent>

- 19 36 44 51 54 93 106 **Introducing Agent: Verified novelty intelligence — in minutes, not weeks | IPRally Blog**
<https://www.iprally.com/news/introducing-agent>
- 20 31 96 **Introducing Smart search: turn any material into an effective ...**
https://www.iprally.com/news/introducing-smart-search?utm_source=chatgpt.com
- 21 **Customer Case Studies**
<https://www.iprally.com/resources/case-studies>
- 22 89 99 **Data coverage | IPRally Help Center**
<https://help.iprally.com/en/articles/3270009-data-coverage>
- 23 35 104 **Overview of AI Assistants of IPRally | IPRally Help Center**
<https://help.iprally.com/en/articles/13110035-overview-of-ai-assistants-of-iprally>
- 24 43 **Connect IPRally to Your AI Assistant | IPRally Help Center**
<https://help.iprally.com/en/articles/16034548-connect-iprally-to-your-ai-assistant>
- 25 **Legal Documents**
https://www.iprally.com/support-and-legal/legal?utm_source=chatgpt.com
- 26 41 **Security and Privacy for 'Ask AI' | IPRally Help Center**
<https://help.iprally.com/en/articles/8398406-security-and-privacy-for-ask-ai>
- 28 **Reports & Analysis**
https://www.iprally.com/resources/reports?utm_source=chatgpt.com
- 32 **Introducing Image Search | IPRally Blog**
https://www.iprally.com/news/introducing-image-search?utm_source=chatgpt.com
- 33 **Using 'Ask AI'**
https://help.iprally.com/en/articles/8398386-using-ask-ai?utm_source=chatgpt.com
- 34 **Smart Filters**
https://help.iprally.com/en/articles/10513652-smart-filters?utm_source=chatgpt.com
- 42 85 90 **Terms of Service**
<https://www.iprally.com/support-and-legal/terms-of-service>
- 48 **How TLB halved patent search time and strengthened its advisory role with IPRally**
<https://www.iprally.com/case-studies/how-tlb-halved-patent-search-time-and-strengthened-its-advisory-role-with-iprally>
- 49 **How Metsä Group empowers their R&D team with intuitive patent intelligence**
<https://www.iprally.com/case-studies/how-metsa-group-empowers-their-r-d-team-with-intuitive-patent-intelligence>
- 50 102 **assets.website-files.com**
https://assets.website-files.com/5bec13eafb29cc0f35b87530/642469b440fa1c9795dc8161_iprally-case-study-melexis-web.pdf
- 56 59 **AI Patent Search, FTO & Design Clearance | Patsnap Eureka IP Searching**
<https://eureka.patsnap.com/ip-search>
- 57 **Plans & Pricing**
https://eureka.patsnap.com/pricing?utm_source=chatgpt.com
- 60 62 **Orbit Intelligence - Patent Analytics & Search Software - Questel**
<https://www.questel.com/patent/ip-intelligence-software/orbit-intelligence/>
- 61 **Orbit Intelligence - Patent Analytics & Search Software**
https://www.questel.com/patent/ip-intelligence-software/orbit-intelligence/?utm_source=chatgpt.com

63 65 Derwent Patent Search (formerly Derwent Innovation)

https://clarivate.com/intellectual-property/derwent/patent-search/?utm_source=chatgpt.com

64 67 Clarivate Launches AI-Powered Patent Search Solution in ...

https://ir.clarivate.com/news-events/press-releases/news-details/2024/Clarivate-Launches-AI-Powered-Patent-Search-Solution-in-Derwent/default.aspx?utm_source=chatgpt.com

66 Navigate the future with Derwent

https://clarivate.com/intellectual-property/lp/derwent-ai-patent-search-analytics/?utm_source=chatgpt.com

68 69 71 Patentfield パテントフィールド | AI特許分析プラットフォーム

https://product.patentfield.com/?utm_source=chatgpt.com

70 料金プラン

https://patentfield.com/pricing?utm_source=chatgpt.com

73 74 Tokkyo.Ai

https://www.tokkyo.ai/?utm_source=chatgpt.com

75 76 価格 – Tokkyo.Ai プライベートAI特許

https://www.tokkyo.ai/pvt/price/?utm_source=chatgpt.com

80 82 Start your free trial

https://www.iprally.com/trial?utm_source=chatgpt.com

84 86 Generative AI – Additional Terms and Conditions

<https://www.iprally.com/support-and-legal/generative-ai-additional-terms>

87 Patent Search / Utility model Search | Japan Patent Office

https://www.jpo.go.jp/e/support/j_platpat/patent_search.html?utm_source=chatgpt.com